

保育総合研究会広報誌 NO. 32

発行所： 保育総合研究会事務局 H20・10・20
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内
TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831
発行人： 会長 梶 沢 幸 苗



平成20年8月27日(水)午後1時から、アルカディア市ヶ谷・私学会館において第28回定例会が行われた。

I 報告



第30回 全国青年保育者会議沖縄大会 分科会レポート
子育て支援部会 上原隆寛 氏



去る平成20年7月10日(木)～12(土)の3日間にわたり、全国青年保育者会議が暑い沖縄の地で開催されました。7月の沖縄は想像以上の熱気で息を吸い込むのも苦しいほどの暑さでした。

さて、保育総合研究会では7月11日(金)に「保育指針と保育所の教育プログラム」という演題で第1分科会を担当させていただきました。会場は沖縄県宜野湾市にある沖縄コンベンションセンター会議棟B1階、参加者人数は111名でした。

定刻の13時より東ヶ崎保育総合研究会事務局長の開会の挨拶がはじまり、その後「新保育指針の第2章と第3章の相関性による年間指導計画の考え方」という演題で保育総合研究会副会長である坂崎先生が講演いたしました。

14時過ぎより分科会の中心を担う「2歳児と4歳児クラスの年間指導計画の作成の仕方」に参加者と共に取り組みました。

まず、分散会を6つに分け、養護生命、養護情緒、教育健康、教育人間関係、教育環境、教育表現を担当して、作業に取り掛かりました。

各分散会は簡易な自己紹介の後、保育内容・領域別発達区分の表の作成に取り掛かるのですが、おおむね6ヶ月未満からおおむね6歳までの発達8区分と子どもの発達と保育を捉える視点にあわせて表を埋めていくという作業が参加者の方々の頭を非常に悩ませていたように思いました。

予想以上にこの作業に時間がかかりましたが、坂崎先生からのプレッシャーもあり、無事、発達・年齢別保育内容おおむね2・3歳と4・5歳の表が完成されるに至りました。

次に、参加者の方々にはこのコピーを渡して2歳児クラスと4歳児クラスの年間指導計画を作成する取り組みに移りました。が、各自年間指導計画を作る作業は時間的に厳しい状況にあり、おおむね2・3歳の表から2歳児クラスの指導計画、おおむね4・5才児の表から4歳児クラスの指導計画を導いていくという方向性を示すにとどまりました。

分散会の後、前段の講演に続き「新保育指針と保育所の教育プログラムの相関性」という表題で坂崎先生から、この分散会のまとめも含めての講演をしました。

分科会の終わりに遠藤浩正子育て支援部会長より閉会の挨拶して、保育総合研究会による全国青年保育者会議沖縄大会第1分科会が閉幕しました。

終わりに参加者の方々からは、「大変勉強になりました」「自園でも参考にします」というような声や「現場の保育士さんたちがこのような思いをして、実際に指導計画を作成しているということを実感させられました。」という声など、多数の感想を聞くことができました。

最後に参加者の方々にとって、この第1分科会は大変実り多く、今後の自園での保育活動に十分生かされていくと私は実感しました。



II 講演



「食を通した子育て」～保育指針への食育計画とその実践～

講師 東京家政学院大学准教授・保育指針検討委員会委員

酒井 治子 氏



平成17年6月17日「食育基本法」が公布され平成18年3月に食育基本法に基づく「食育推進基本計画」が策定された。

今後も改定保育指針と同様に食育指針を使っていく。保育所における食育とは、どのような次期にどのような体験をどのように積み重ねて学びが連続され小学校に連携していくことです。保育所の保育は保育士だけではなく、調理師・栄養士等の職員が役割を持って働いている。改定指針には保育計画や評価も保育士等と記述され、保育士を中心に様々な職員の協働が必要なため保育士等という記述がされています。保育園の目標を全職員で支えあうことが重要です。

食育について、改定指針には第五章安全及び健康の部分に食育の推進と明記されています。食育は5領域(健康・人間関係・環境・言語・表現)、随所にちりばめられています。5領域の接点として、コミュニケーションの原点は授乳にあります。空腹から満腹その後まどろみ寝るといった情緒の安定から人間関係に繋がります。また給食は、同じものを分かち合い配分していくことで数や形に繋がっていきます。環境という接点の中から、科学性が芽生え食べられることは食べることで大きくなると感じ健康に繋がっていきます。



またクッキングは食べたいからやりたいことを考える表現であり、準備片付けは自分で生活をつくる体験であります。

このように、幼稚園教育要領にはない作物を育て味わう等、五感を通したリアリティーな体験として心情を高める場として食育があります。食を営む力の基礎が大切で乳幼児期しか育まれません。イベント化されたものだけではなく毎日の食事が食に関わる体験であります。そのために空腹感が必要であります。現在はいつでもどこでも手軽にといった、お腹のすかない環境が沢山あります。そのため、お腹のすくりズムがとれる環境が必要であります。子どもが、食べたいものを見つけていき、「おいしいね」という保育士の援助で食べられるものを増やしていきます。5～6歳になると食べ物によって体が作られることを知り、健康と食べ物の関係に興味関心をもてるようにしていきます。しかし教え込むことにならぬように配慮します。

食育の計画づくりとは、乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう、食事の提供を含めた食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけると共に、その評価及び改善に努めることです。つまり食育だけ分断されずに食育の繋がりも他の活動に繋げて保育計画を作成することです。かつここでのプロセスが大切であり、園内研修等で、食べる場面時発見や子どもの育ち・提案をしていくことで職員の共通理解に繋げていく。

実施体制については、施設長が実施体制の整備に努めなければならないと明記されている。施設長の役割が明記され重要になっています。



次回、定例会 予告

11月27日(木)

アルカディア市谷 私学会館

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
(TEL)03-3261-9921

- | | |
|-------------|--|
| 13:00 | 開会式 |
| 13:10～15:00 | 新保育所保育指針サポートブック発刊と内容
ホームページリニューアルについて |
| 15:15～16:45 | 講演「保育制度の行方」
厚労省社会保障審議会少子化対策特別部会委員
遊育編集長 吉田正幸 氏 |
| 17:00 | 閉会式 |



新保育所保育指針を わかりやすく解説!



CD-ROMが2枚付

12月1日発売

1,680 円

付録のCD-ROMに
フォーマットが
入っているから
指導案が簡単に作れます!

予約注文書

園名:

お名前	お名前
お名前	合計 冊